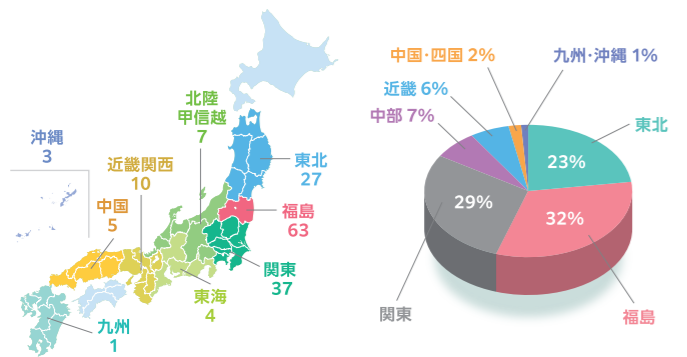


06 | 参加者分析 CHECK!

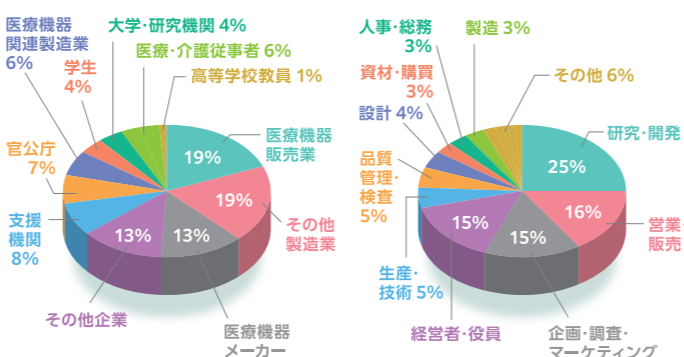
オンライン開催により、場所や時間の制限がなくなったため、広い地域から、多くの職種の方に参加いただける展示会となりました。



出展者地域内訳



来場者業種



出展者の声

出展準備に関する感想(複数回答)

- 出張対応がないことは楽で良かった...52.1%
- 自社ページを自分で修正・更新できるので良かった...51.1%
- 何を準備したら良いのかわからず大変だった...46.8%
- 展示品出展準備の負担が少なかったのが良かった...42.6%
- 動画・プレゼンテーション等のコンテンツを制作することが大変だった...28.7%
- 企業紹介動画制作のサポートがあった良かった...28.7%
- WEB商談のネットワーク環境や機材の整備が大変だった...5.3%

オンライン展示会で工夫したことベスト3

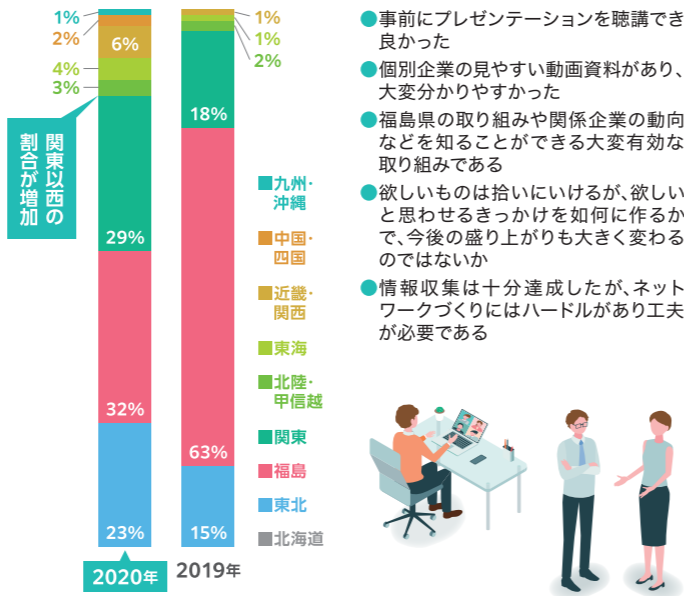
- 1 動画制作において分かりやすい内容を心掛けた...27.7%
- 2 掲載画像の工夫(簡潔に、わかりやすく、特徴が伝わるよう)...25.5%
- 3 積極的にコンタクトしアポイントを取った...6.4%

オンライン開催の感想

- リアル展示会と異なり、立ち寄り顧客は見込みづらいが、逆にアポが成立すれば、密度の高いPRや情報収集が出来る可能性が高い
- オンラインのむず痒さがあったが、参加する方法や知見を得たことは今後に繋がると感じている
- オンライン商談も比較的スムーズにできた
- メリットを感じられた一方で、来場者に製品を操作いただき効果を実感してもらえなかった

来場者の声

来場者エリア(昨年比)



オンライン開催の感想

- 事前にプレゼンテーションを聴講でき良かった
- 個別企業の見やすい動画資料があり、大変分かりやすかった
- 福島県の取り組みや関係企業の動向などを知ることができる大変有効な取り組みである
- 欲しいものは拾いにくいけど、欲しいと思わせるきっかけを如何に作るかで、今後の盛り上がりも大きく変わるのではないか
- 情報収集は十分達成したが、ネットワークづくりにはハードルがあり工夫が必要である

開催報告書

EVENT REPORT

2020
10.16 FRI - 17 SAT
10:00-16:00

医療機器メーカー、ものづくり企業、医療・介護従事者、学生等が集う /
第16回 医療機器設計開発・製造に関するオンライン展示情報展

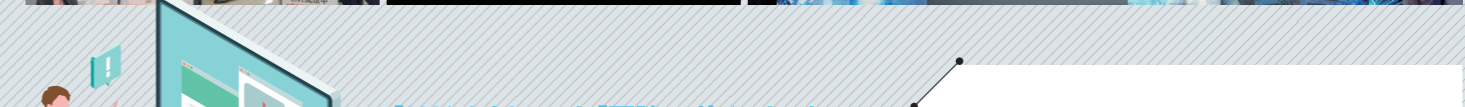
メディカルクリエーション
ふくしま2020 WEB

CONTENTS

- 01 | 初のオンライン開催へ向けての準備
- 02 | 出展者からの声
- 03 | セミナーのご紹介
- 04 | 第9回 メディカルクリエーションふくしま(MCF)大賞
- 05 | 第1回 創生アイデアコンテスト
- 06 | 参加者分析



初のオンライン開催を振り返る



「はじめまして」も「面談アポイント」も
オンラインからスタート!
2020年10月16日・17日開催
2日間で合計3,232人が
特設サイトに来場

16回目の開催となる「メディカルクリエーションふくしま2020」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、新しい方式にチャレンジし、「オンライン展示会」として開催しました。時間や場所に縛られず参加できるという最大のメリットを活かし、県内外から157企業・団体が出展し、特設サイトには2日間で合計3,232人が来場しました。会期前より出展者プレゼンテーションや企業紹介動画を配信することで長期のPRを実施したことにより、WEBミーティング成立数及びメッセージ交流数は約2,300件を数え、出展者には「事前の来場者アプローチができる」という点で効率的であったと言えます。また、参加者のエリアや職種の幅が広がり、「これまで繋がりのなかった顧客と出会う可能性がより一層広がる」というオンラインならではの交流が実現しました。

メディカルクリエーション
ふくしまとは?

福島県では2005年から、異分野製造業の高い技術力に着目し、これらの医療機器分野への新規参入促進を目指して「うつくしま次世代医療産業集積プロジェクト」を実施しております。東日本大震災後は、新たな時代をリードする新産業の創出として復興計画重点プロジェクトの1つに同産業の一層の集積を掲げ、その1つが「メディカルクリエーションふくしま」です。

本展示会では、製造業が得意とする技術と医療機器メーカーによる最新医療機器の展示を同時に行うとともに、最新技術や人材育成をテーマとした各種セミナーを開催しており、関係業界のご支援をいただきおかげさまで、「医療機器ふくしま」のシンボルとして注目されるイベントに成長しております。

開催を終えて | 中止するという考えは1%もなかった。新しい展示会様式が生まれたと思います

メディカルクリエーションふくしま実行委員会 委員長 小林 利彰



「メディカルクリエーションふくしま」は今年で16回目を迎えます。16年続けて医療機器関連のイベントを行なっている例は他にはありません。今回は開催の仕方に工夫は必要でしたが、中止するという考えは1%もありませんでした。初のオンライン開催では、「来場者はオンライン上で会いたい人に会いに行くことができ、見たいセミナーも移動の負担なく見られる」など、オンラインならではの良い点がたくさん見られました。

私たちが目指すことは、地域に素晴らしい企業があるということ、医療に関わる方々だけでなく、地域の方に知っていただくこと。その方たちが自分の子どもにそのことを伝え、子どもたちが将来福島で就職する、そしてその企業が健全に成長するためのサポートを行うというサイクルを回し続けることです。このようなコロナ禍で本展示会を開催できたことを意義あることにしていきたいと思えます。



お問い合わせ/メディカルクリエーションふくしま実行委員会

事務局/一般財団法人 福島医療機器産業推進機構
〒963-8041
福島県郡山市富田町字満水田27番8(ふくしま医療機器開発支援センター内)
TEL 024-954-4014 Email: mcf@fmdipa.or.jp

メディカルクリエーションふくしま2020
https://www.fmdipa.jp/mcf/



01 | 初のオンライン開催へ向けての準備

CHECK!

初のオンライン開催に伴い、出展者の方々に充実したイベント当日を迎えていただけるよう、様々な取り組みを行いました。

オンラインでもしっかり製品や技術を伝えられるよう
効果的なPRコンテンツ作成に向けた研修プログラムを準備

これまでブースで来場者と対面で行っていた展示会をオンラインで行うにあたり、「どのような準備をすればいいのか」との疑問をお持ちの出展者向けに、製品やサービスをいかにPRコンテンツに落とし込むか、自社製品の優位性の伝え方についてセミナーや公開コンサルテーションを実施しました。短い時間で自社技術を効果的に伝えるための、キャッチコピーやプレゼンテーションの作り方などについて専門家からアドバイスを受け、またワークショップでは出展者同士で自社情報のアウトプットを体験し、「価値を伝える」ためにどのような準備を行うべきか研修しました。



- 出展者の声**
- 効果的な営業活動のノウハウを知ることができた。
 - WEB展示会は初めてなので目に留まるキャッチコピーの作り方などが知れて良かった。
 - 何を準備しPRすることが効果的か、またその手法を学ぶことができた。

いかにターゲット層を呼び込むかが鍵! 企業紹介
動画や出展者プレゼンテーションを制作・配信

オンライン展示会では来場者からの問い合わせを「引き出す」活動が必要となります。自社ページでの様々なPRにより、製品やサービスに関心をもつ来場者からの問い合わせやWEB商談申請を得て、初めてアプローチを行うことができます。問い合わせを待つスタイルであるがゆえに、いかに役に立つ情報をわかりやすく提供するかが重要ですが、「適したコンテンツを持っていない」、「どのような動画を作ったらよいかかわからない」、「プレゼンテーションの撮影は初めて」という出展者様の声が多くあり、企業紹介動画や出展者プレゼンテーションの制作サポートを実施しました。



02 | 出展者からの声

CHECK!

オンライン展示会の手応えを出展者それぞれが実感。新しい展示会の形、今後の自社の商品のアピールの仕方を知ることができる2日間となりました。

セミナーを元にPR動画を作成。今後につながる機会になりました

株式会社システムフレンド 代表取締役社長 朝山 俊雄 氏 (広島県/初出展)



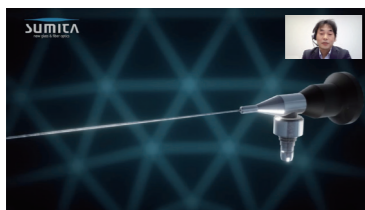
オンライン出展というのは弊社にとっては実は3回目になります。1回目、2回目と段階を経て、今回の出展はとても良い形で迎えることができました。この度制作した動画は、メディカルクリエイションふくしまの事前セミナーを元に作ったものです。どのように伝えたら良いかという

参考にさせていただき、良いPR動画を作ることができました。足を運んで営業するというのは今は難しい状況ですので、こういったオンラインでの出展というのは今後重要な場となると思います。私たちもそれを見据えて、営業の仕方を勉強していきたいと思っています。



セミナーも多くの人が聴講。全国に知ってほしいことが
伝えられる良い機会となりました

株式会社住田光学ガラス
営業部 次長 佐藤 忠信 氏 (埼玉県/出展回数11回目)



オンライン展示会は当社としても初めての試みでした。しかし実際行ってみると、セミナーでは100人規模で聴講者がいました。普段聞いてもらえない人に聞いてもらうことができる、

全国に知ってほしいことを伝えることができる、良いイベントだったと思います。

今後こういった形の展示会は増えてくるだろうと思いました。「メディカルクリエイションふくしま」は長く続く素晴らしいイベントです。今回初のオンライン開催というのも、継続の中にまた新しい形、魅力が生まれる良い機会だったのかもしれない。

“動き”や“感触”をWEBミーティングでできる限り
伝えられるように工夫しました

スガツネ工業株式会社 テクノフィールド事業部
仙台営業所 主任 鹿間 匠 氏 (東京都/出展回数6回目)



当社は産業機器用機構部品のメーカーで、医療用ダンパーや、指を挟まない音を出さない引き出しなど、動きに特長のある製品を幅広く製造しています。本来ならば来場者に製品を

実際に触っていただくことが一番です。しかしオンライン開催ということで、できる限り画面から当社の製品の特長が伝えられるように工夫しました。まずは製品を並べ、動きを再現して見るようにしました。カメラワークも意識して、製品の動きが伝わるように一番適した角度から撮影しました。お客様からも「面白い」という声をいただき、製品を知っていただける良い機会になったと実感しています。

03 | セミナーのご紹介

医療機器開発や業界の最新情報をテーマに全12セミナーを配信しました。オンラインならではのメリットを活かし、多くの方に視聴いただきました。

主催 オープニングセミナー
医療製品サプライチェーンの危機管理とは

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、工場の稼働停止や物流の停滞などが生じ、サプライチェーンの寸断や各種医療製品の不足など様々な影響が出ました。今後、災害時などに医療製品の安定供給を行うためにどのような準備が必要か、企業の事例に触れながらお話をいただきました。

- 基調講演 / 一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構 公益財団法人医療機器センター 理事長 菊地 真
- 特別講演 / ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 日本法人グループ サプライチェーンデリバー 荒川 朋子 氏
- 事例発表 / ○福島県医療機器販売業協会 会長 権瓶 健市 氏
○株式会社三幸製作所 総合業務部 営業企画G 次長 遠藤 昭和 氏
○株式会社ニチオン 代表取締役社長 本田 宏志 氏
○株式会社ピュアロンジャパン 代表取締役社長 中島 秀敏 氏



聴講者の声

- 社会リスクは常に起こり得ることを前提として、リスクに対するアクションの準備を進めることの重要性を認識しました。
- 最新のトピックが多く盛り込まれており、貴重な情報収集となった。
- 緊急事態時の具体的な事例を交えながらの講演でとてもよかったです。

主催 人材育成セミナー
新型コロナウイルスの感染症・感染防止対策とは。
～ものづくりの力で、どう貢献できるか～

医療用品が不足した際、国内で供給できた製品・できなかった製品の課題や製品化までの成功のポイントなどについてお話を伺いました。また、医療・介護現場での感染防止対策の実践事例から知識を深めました。

主催 最新技術セミナー
先端技術と歩む未来の健康・医療・介護のイメージ
～ふくしま発の医療・ヘルスケア分野におけるAI/IoT実証事例～

超高齢化社会となる2040年。AI、ロボットなどが普及することで、健康・医療・福祉の未来はどう変わるのか。経済産業省の政策、福島県内の医療機関・企業等の取り組み事例を紹介いただきました。

04 | 第9回 メディカルクリエイションふくしま (MCF) 大賞

MCF大賞は、医療機器関連分野の新しい商品や技術を開発している出展企業の事業促進、モチベーション向上、日本の技術を国内外に発信することを目的としています。

大賞 BEST AWARD
株式会社システムフレンド
(広島県広島市)

【共同出展】ひろしま医療機器関連産業研究会

審査対象品 Mobile Motion Visualizer 鉦 AKIRA

評価ポイント すでに確立したモーションキャプチャー技術を医療に応用したことが極めて斬新。これからの医療機器が貢献すべき姿を示しており、そのメッセージ性も含めて大賞に相当する。

受賞コメント 会社としてもモチベーションが上がりました。次の出展はさらに良いものを提供できるようにしたいと思います。



優秀賞

株式会社住田光学ガラス
(埼玉県)

審査対象品 光学ガラスの材料開発から非球面レンズ・光ファイバーなどの光学部品、それらから構成される光学デバイス製品



奨励賞

パルステック工業株式会社
(静岡県浜松市)

審査対象品 臨床検査機器の受託開発、OEM生産



ケアサポート賞

タマチ工業株式会社
(東京都品川区)

審査対象品 Rcot(アールコット) 電動歩行補助椅子



奨励賞

シナノケンシ株式会社
(長野県上田市)

審査対象品 CPAP・人工呼吸器プロフ、医療機器用コンプレッサー



奨励賞

マルホ発條工業株式会社
(東京都左京区)

審査対象品 多糸多層コイル、レーザー加工部品、首振り機構、微細コイル、電解研磨などの医療機器向け金属加工部品



アクセス賞

株式会社東陽
(長野県塩尻市)

審査対象品 世界最小クラスのメディカルパーツ



05 | 第1回 創生アイデアコンテスト

高校生を対象に新型コロナウイルス感染症拡大を防止するための製品アイデアを募集し、全17テーマの中から、出展企業の評価をもとに、各賞を決定しました。

最優秀賞
福島県立清陵情報高等学校
自動マド「らくちんカンキん」

次回開催予告

メディカルクリエイション
ふくしま2021

日時 2021. 10/28(木)・29(金) (予定)

ご出展お待ちしております!